

第 1 回 ヒグマエサやり禁止キャンペーン企画部会
議事要旨

日時 平成 24 年 11 月 27 日（火） 14：00 - 17：00

場所 知床世界遺産センター レクチャールーム

会議次第

開会

あいさつ

議事

- 1．趣旨説明（知床エコツーリズム戦略での提案）
- 2．事例報告
- 3．エサやり禁止キャンペーンについて
- 4．その他

閉会

議事要旨

【 開会 】

【 あいさつ 】 知床斜里町観光協会 新村
環境省ウトロ自然保護官事務所 野川
（環境省 野川）

- ・この会議がたちあがった経緯について説明する。
- ・平成 22 年より知床世界自然遺産適正利用エコツーリズム検討会議を立ちあげ、官学民の知床に携わる方々にお集まりいただき、どのように知床におけるエコツーリズムを進めていくかについてご議論いただいた。
- ・その中で知床におけるエコツーリズムを含む観光を推進していくための知床エコツーリズム戦略を検討してきた。
- ・知床エコツーリズム戦略は、知床の自然を活用・保全することにより、自然の価値も高まり、良質な自然体験の提供や、地域社会と経済の発展を目指した共通の目標を定めた基本方針などをまとめ、地域主体を軸に皆さんからの提案について検討しているというものである。
- ・斜里町観光協会さんからこの戦略を活用し、ヒグマのエサやり禁止キャンペーンについて提案をいただき、今回の部会立ちあげとなった。
- ・この戦略は、提起いただいた課題について、部会にて具体的な検討を行い、その結果を検討会議にて承認されれば皆さんと一緒にやっていくというものである。
- ・今回の部会は、知床エコツーリズム戦略（案）を活用した初めての部会となる。
- ・観光協会さんから出た提案について、良いアイデアをたくさん出していただき、活発な議論をお願いしたい。

(斜里町観光協会 新村)

- ・ 資料の確認
- ・ 進行役を斜里町岡田さんをお願いしたい。

1 . 趣旨説明 (知床エコツーリズム戦略での提案)

(議長 斜里町 岡田)

- ・ 企画の提案者である観光協会より経過説明と検討に関わる課題について説明願う。

(斜里町観光協会 松田)

- ・ エコツアー戦略の提案内容については、参考資料 1-1 をご覧いただき説明は省略する。

2 . 事例報告

(斜里町観光協会 松田)

- ・ パワーポイント資料の作成にあたり、北海道総合研究所の間野様にもご助言等をいただき整理をした。
- ・ 事例報告、現状と課題についてパワーポイントを用いて説明。
- ・ 本日お集まりいただいた皆さんに、それぞれの立場で協力をお願いしたい。

(議長 斜里町 岡田)

- ・ 今シーズンのクマの出没増にしたがう問題の顕在化について、地域の声としてヒグマのエサやりやゴミの管理の徹底、遺産地域に入る前にマナーの周知などについて、皆さんのご協力を持って進めていきたいというものである。
- ・ ここまでの説明について、ご意見ご質問を伺う。(意見質問なし)

3 . エサやり禁止キャンペーンについて

(斜里町観光協会 松田)

- ・ 資料 2-1 を用いて本部会の設置について説明。
- ・ 資料 2-2 を用いて本部会の進め方について説明。

(議長 斜里町 岡田)

- ・ 構成メンバーの選定については、皆さんに必ず何かの役割を担っていただくというのではなく、今想定されるご意見をいただき、それぞれの役割でできる範囲のご協力をいただくというものである。
- ・ 部会の進め方等について、ご意見ご質問を伺う。
- ・ 野生動物に関するエサやりについての問題は他にもあるが、この部会ではヒグマにターゲットをおいて進めていくことを確認する。
- ・ 部会の構成員について、他に必要であるというご意見があれば伺う。

(ウトロ地域協議会 桜井)

- ・ 部会目標の中の「観光地としての魅力を損なわないことにより、…」の「損なわな

いことにより」の部分だが、「損なわず」ではないのは何か意図することがあるか。

(斜里町観光協会 松田)

・特に意図はないので、「損なわず」に修正する。

(ウトロ自治会 金浜)

・今現在、知床でのクマの個体数は把握できているのか。

(知床財団 寺山)

・はっきりとした記録はない。メスヒグマは 150～200 頭ぐらいは少なくともいるであろうというぐらいしかわかっていない。

(ウトロ自治会 金浜)

・ウトロで生まれ長年生活をしているが、これほど人里にクマが出没したことはなかった。

・北海道開拓による狼の駆除によりクマの天敵がいなくなり、シカが増えすぎて山が荒れていることもあるが、クマの個体数も増えているのではないか。

・そういうことも合わせて会議で議論するべきではないか。

・ゴミの放置と聞くと地域住民のゴミ処理が悪いようなイメージがあるが、地域住民はクマを寄せ付けないような工夫をしている。

・クマの検討に関して団体ばかりたくさん作らなくても良いのではないか。

(環境省 野川)

・出没するヒグマへの対応について、ヒグマの行動段階やゾーニングでの場合分けに応じた対処方法を取りまとめ、知床半島ヒグマ保護管理方針としてこの 3 月に作成し、今後 5 年間のヒグマに対する課題に対応することとしている。

・ゴミの処理等については地域住民の皆さんにより配慮いただいていることを十分理解している。

・一方行政では対応できないような部分について、観光協会さんからご提案いただいたと考えている。

・クマに関わる様々な課題があるため、複数の会議や勉強会を連携させつつ、地域の方への有益な情報提供ができれば良いと考えているので、ご協力をお願いしたい。

(議長 斜里町 岡田)

・エサやりに限らず色々な課題がある。

・この部会の中では、非常に悪影響を及ぼすクマへのエサやり行為について、問題解決に向けてのご意見を頂きたい。

(ウトロ自治会 金浜)

・地域住民だけが配慮しても解決にならない。

・観光客が知床に来る前に対処しなければならない。

・知床でこうした取り組みをしているということを観光客にもわかってもらいたい。

(議長 斜里町 岡田)

・観光客が知床に入る前に効果がある手法がないかなど、これからの議論で意見を出示していただきたい。

・この部会は、観光利用者によるヒグマへのエサやり行為やゴミの放置をターゲットとしている。

・部会の名称については、「知床」、「ヒグマ」という言葉が入っていたほうが、マスコミ等にも取り上げられやすく、効果を期待できるなどの考えによるものである。

(環境省 三宅)

・部会目標の下段に接近行為等という言葉があり、今年は特にこの接近行為が問題になっていたが、部会の取り組み対象には入れないのか。

(斜里町観光協会 松田)

・接近行為についても具体的に盛り込みたかったが、接近の定義づけが難しく、今後議論が必要である。私たち民間ができることとして、エサやりとゴミ放置の課題に集中して取り組み、その中で今後クマとどう付き合えば良いかを考えていきたい。

(環境省 三宅)

・今回のキャンペーンでは、接近行為は主な対象にしないということか。

(斜里町観光協会 松田)

・活動の中で付随して啓発することは否定しないが、主たる対象にはしない。

・良いアイデアが出て、取り組みが可能であれば取り入れたい。

(議長 斜里町 岡田)

・資料 2-2 の 1.部会目標に「2012 年に発生したヒグマのエサやり行為・接近行為等…」とあるが、この部会ではまず、エサやり禁止について取り組むことで良いか。

・いくつかご意見ご質問があったが、進め方については基本的に資料 2-2 のとおり進めていくということをお願いしたい。

・観光協会の意向により、具体的に色々なアイデア出しを自由討議で進めていきたい。

(斜里町観光協会 松田)

・ここで結論を出すわけではないので、自由に意見を言っていただきたい。

・いただいたアイデアを元に第 2 回部会にむけて事務局で整理させていただき、個別に打ち合わせをさせていただきながら具体案を作成していきたい。

【自由討議】

「ヒグマにエサをやってはいけない」理由は？について

1	人（観光客、住民）に被害が生じるから
2	結果的にヒグマを殺す事になるから
3	野生のヒグマが野生らしく生きられなくなるから
4	接近・付き合い方は別途議論していく必要がある

「ヒグマへのエサやりをなくすアイデアは？」

社会として、教育としての取り組みアイデア

1	エサやり禁止教育活動
2	教育プログラム、学校教材

広報のアイデア

1	北海道新聞の一面広告の掲載
2	T V 番組作成
3	映像制作
4	ホームページ用統一バナーの作成
5	ポスターや印刷物にキャンペーンのマークを入れる
6	イベント等のポスター、チラシの作成
7	イベント等で使用するわかりやすいパネル・ポスター・横断幕の展示
8	自販機でのメッセージ発信
9	小中学生に絵ポスターを作成してもらい道の駅などで掲示

共通ステッカーを活用したアイデア

1	自動車に共通のマグネット式ステッカーを貼ることによる広報活動（デザイン性の高いもの）
2	市民パトロール共通ステッカー
3	コンビニの弁当にシールを貼ってもらう
4	知床財団がこれまでに作ったピクトグラムの活用
5	知床財団がヒグマ授業で使用している教材の有効活用（ステッカー作成）
6	トイレでの広報

運転者に周知するためのアイデア

1	道路の電光掲示板への掲示
2	道路標識
3	道路掲示看板
4	道路工事の際に統一したメッセージの表示を依頼
5	レンタカー利用者向け広報パンフレット
6	コンビニやガソリンスタンドに掲示
7	レンタカー用ドライブマップに掲載

旅行者が広報に参加できるアイデア

1	旅行者が持ち帰れるようなステッカーなどの商品化
2	旅行者が持ち帰れるような缶バッジなどの商品化

啓発活動で効果が上げられなかったら

1	法的禁止・法規制の導入
2	このキャンペーンで効果が見られなければ条例・法律の制定

「アイデア・メニューの効果を最大にするには？」

1	(一部)多言語化
2	大手企業の協力依頼
3	活動の全国展開
4	観光ウェルカム、迎える側からのPRとしてのメッセージ発信の発想
5	観光関係者からの発信
6	既存の組織とのタイアップ
7	強化週間を設定し、様々な手法で共通のメッセージを伝える
8	クマがゴミ箱をあさる写真は使用しないなど、使用する写真を吟味する
9	クマにエサをやってはいけないことが一目で見てわかるデザインを考案
10	航空会社との連携
11	知床財団で使用している学校教材の中からクローズアップしたもの、ステッカーを作成
12	シーニックバイウェイなどとタイアップ。道路利用者をターゲットにする
13	自然系施設に立ち寄りしゅみ作り
14	自然の番人宣言のツール・手法を参考または連携
15	斜里・羅臼・近隣市町村が一体となった取り組み
16	集中的にやる
17	知床方面に向かうレンタカーにステッカーを貼る
18	ステッカーを活用し、監視の目を増やす
19	ステッカーをつけて走る
20	全道・全国の観光関係ネットワークを利用
21	ターゲットは道外、レンタカー利用者
22	誰でもわかる図表を表示
23	短期勝負で集中

24	地域での活動事例を紹介する（地域で金属性のゴミ箱を使用するなどの取り組みなどについて）
25	ツイッター、フェイスブックの活用
26	デザイン性の高いもの
27	デザインは、クマの他に鹿やキタキツネの小さなシルエットを入れて相乗効果を狙う
28	道外からのアクセス拠点を網羅
29	道外者をターゲット
30	道路利用者をターゲット
31	投げっぱなしにしない広報。説明を加えることによる効果。刺激的なものも輝く
32	ヒグマとの付き合い、生きている知床の活動そのものを伝える。使用する写真に気をつける
33	フェリー会社との連携
34	防犯・交通などのネットワークを利用
35	法律的な禁止用語を使用するのではなく観光PRキャンペーンの一貫としてやる
36	マスコミや芸能関係を活用したキャンペーンPR
37	民間のCSRとのタイアップ。既にパイプがあるところを活用
38	メッセージの統一
39	レンタカー会社に協力依頼

「どのような“ことば”に込めて発信しますか？」

1	「ゴミがクマを殺す」
2	直接的に「エサをあげてはいけない」、サブタイトルに工夫
3	「エサをやらないでください」
4	インパクトのあるメッセージとその説明
5	「人にクマは殺される」
6	ポジティブなシーンが連想できる言葉
7	観光客が協力しやすいメッセージでポジティブなもの
8	「私はクマを殺したくない」「セーブ～」
9	目的・主旨が明確なもの
10	前向きな絵と厳しいメッセージ
11	クマの側から「エサはもらいません」という発想
12	否定ではなく肯定「クマにエサをやらないでありがとうございました」

13	「クマにエサやったらだめだべさ～（ベヤ～）」地域性を感じる言葉、発信者を明確に
14	インパクトのあるストレートなメッセージ
15	説明する時間を3段階ぐらいに分け、場・時間に応じた使い分けをする
16	車のステッカーには、見てすぐわかるメッセージ

「映像を活用し広報を効果的におこなうためには」

1	林野庁・斜里町などのホームページで発信（短いもの）
2	インパクトがあるすぎると...
3	食事中に見せられる内容で
4	長いものとダイジェスト版と2パターンで作成
5	地域の苦悩が見えるドキュメントなど、インタビューだけの映像でもOK
6	駆除はかわいそう、エサやりで殺させたなど、地域の声・心情をメッセージとして伝える
7	エサやりした本人は善意であったでも駆除。何故だめなのか、何故殺されたのかをドキュメント的に
8	30秒や1分で伝わるものを作る
9	学校施設・宿泊施設・道の駅で映像を発信
10	長いものなら宿泊客に食事後見せられる
11	既存のものと組み合わせて使う
12	学校教材に使用
13	インパクトのあるメッセージ性のあるもの
14	メッセージ性が強くて短いもの
15	管理側からのメッセージではなく、地域の声をコメントとして使用
16	クマを殺させないでくれという声で作りたい（価値観の違いはあるが）
17	羅臼の道の駅（30秒～1分）

4. その他

（松田）

- ・2月中旬・上旬に第2回目の部会を開催する。
- ・次の部会までに個別にご意見をお伺いすることもあるので協力願いたい。
- ・本日討議した意見を事務局で調整し、次回に向けて準備を進める。

【 閉会 】